



# PAPER COMMUNICATION 2025

平和紙業株式会社  
Heiwa Paper Co., Ltd.

〒104-0033  
東京都中央区新川 1-22-11  
Tel.03-3206-8501  
<https://www.heiwapaper.co.jp/>

平和紙業株式会社  
コーポレート・レポート



## トップメッセージ

Top Message

### 特殊紙や技術紙、機能紙、 アップサイクルなどの知見を活かし 特殊な「紙」から特殊な「素材」を 取り扱う企業への成長を図る

代表取締役社長  
清家義雄



### 2025年3月期を振り返って

2025年3月期は、国内経済は雇用・所得環境の改善により、緩やかな回復基調で推移したものの、今後の先行きについては、ウクライナ情勢の長期化、原燃料価格や物価の高騰、海外経済の減速懸念に加え、アメリカの関税等の政策動向や中東情勢の影響などから、景気全般の見通しは不透明な状況が続いています。紙パルプ業界全体では、印刷・情報用紙の構造的な需要減少や原燃料高騰に伴う価格改定による紙需要の冷え込みが依然として続いており、紙・板紙合計での国内出荷量は前期を下回りました。

このような中で当社グループは、和洋紙卸売業セグメントにおいて、主力の高付加価値特殊紙の販売強化を進めたほか、需要の見込める高級パッケージや各種技術紙、機能紙の分野で事業拡大を推進しました。特に、紙素材は木材由来のカーボンニュートラル性を持つバイオマスであり、脱炭素、脱プラスチック、SDGsなどの社会ニーズに合致するため、紙素材の優位性を活かした新規商材の開発を進めました。また、展示会、商品説明会、SNS等での情報発信にも注力し、ブランドの認知拡大と新規需要や新規顧客の掘り起こしを強化しました。2024年度は、取扱商材の新たな価値創造と、市場開拓・新事業開発を目的とした事業開発部門を創設し、当社の強みである特殊紙分野での知見を活かしながら、紙素材のみならず紙周辺の特殊素材へと、事業領域の拡大を図りました。

不動産賃貸業セグメントでは、大阪事務所ビルの耐震補強およびリニューアル工事が完了し、一部を賃貸事務所として運用する事業化を進めており、2025年度上半期の稼働を予定しています。

これらの結果、当連結会計年度の業績として、売上高は160億32百万円(前期比0.6%減)となりました。利益面では、営業利益が1億42百万円(前期比9.7%減)、経常利益は2億6百万円(前期比7.0%減)となり、親会社株主に帰

## 社 是

平和を愛し、環境を重んじ、文字文化を通じ、  
豊かな未来創りに役立つ企業を目指す。

目次	02	トップメッセージ
Index	04	財務ハイライト
	08	非財務ハイライト
	11	トピックス
	13	会社概要
	17	株式の状況
	18	事業所一覧

## トップメッセージ

Top Message

属する当期純利益は1億17百万円（前期比14.2%減）となりました。

### 特殊な「紙」から特殊な「素材」へ

紙ハルブ業界全体の動向を見ると、情報伝達媒体を中心に、紙からデジタルへのシフトが継続しています。そのような中で、改めて当社の強みを分析しますと、ファンシーペーパーや特殊紙、技術紙分野に強く、少量多品種販売を可能とする豊富な在庫アイテム・在庫量を持つることにあると考えます。

売上構成で見ると、その半分近くは依然、情報伝達媒体の紙に絡んだ用途となっており、ここは全体的な市場縮小の影響を受ける部分ではありません。しかしその一方で、高級パッケージ用途や技術紙、機能紙という中長期的にさらなる需要を期待できる分野での知見やノウハウを蓄積している点は、当社がこれからも持続的に成長する上で重要な強みとなります。特殊紙というニッチな市場でも、多品種の在庫をしっかりと持っていることで、当社がお客様にさまざまなご提案をする上での競争優位性を発揮しています。一般的には、余剰在庫を削減することが経営の常道ですが、少量でも多品種の紙を在庫として持っていることが、当社がビジネスドメインとする業態では欠かせない強みとなっています。

また、世界的に脱炭素・脱プラスチックの流れが加速する中で、代替素材としての紙への注目もこれまで以上に高まっています。これは、単にフィルム系素材から紙の軟包材へのシフトにとどまらず、産業系の廃棄物を紙に再生して新たな用途でアップサイクルするといった、資源循環の観点でも広がりを見せています。

こうした社会ニーズに、当社では例えば、人体や環境に与える悪影響の懸念から海外などで規制が進むPFAS（有機フッ素化合物）に対して、今後の需要が顕在化している

PFASフリーの耐油紙の取扱いを展開しています。アップサイクルに関しては、和菓子の切れ端やお茶などの食品残渣、さらには衣服断裁時に出てくる切れ端の繊維や化粧品などの仕器など、従来では廃棄されていたものを、フードロス削減やゼロウェイストへの挑戦といった観点で紙素材に混ぜ込んで新たな製品として生まれ変わらせる取り組み事例が複数出てきており、この領域での知見・ノウハウが蓄積されてきたことが、アップサイクルに関心を寄せるさまざまな業態のお客様からのご相談にもつながっています。

当社の仕入先である製紙メーカーにおいても、紙に限らず各種新素材を打ち出しています。当社は2024年度に事業開発本部を創設し、「特殊な紙の販売に強い」企業から、紙の枠を超えて、「特殊な素材の販売に強い」企業へと拡張していく取り組みを強化しています。加えて、紙の流通・販売を通して築いてきた他業種を含む幅広い接点や人脈を活かした付加価値の高いコンサルティングについても、従来の事業領域を超えた新たなサービスとして展開すべく、注力していきます。

### 経営基盤の強化

こうした新たな領域への挑戦を続けると同時に、環境、人的資本、ガバナンスなどの経営基盤の強化も図っていきます。環境面に関しては、私たちが取り扱う「紙」そのものが持続可能な素材との認識のもと、紙を販売する企業活動を継続していくことが、持続可能な社会に貢献するものと考えます。当社は、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001を紙流通業界の中でもいち早く取得しており、ISO14001に準拠したPDCAをしっかりと回しながら、環境に対する意識を高める社員教育や社外への啓発活動をこれからも続けていきます。

人的資本に関しては、昨今のインフレへの対応を含め、他社と比較しても遜色のない水準に、給与のベースアップ

を行っています。また、仕事を通じて得る自己の成長実感が働きがいや達成感につながると考え、社内の教育研修制度の見直しを図り、学びの機会を増やして個々のスキルアップにつなげています。今後も、企業価値の源泉である人的資本の強化・拡充を推し進めていきます。

ガバナンスに関しては、現在当社の取締役会は社外取締役1名、社外監査役2名を含む体制で、客観的な視点から貴重なアドバイスを頂戴するなど、積極的に議論に参画いただいています。また、スタンダード市場上場企業として、コーポレートガバナンス・コードで求められる各項目を満たせるよう努力を重ねることが重要だと考えています。例えば、取締役会における独立社外役員の比率などについては、機関設計の在り方も含めて、検討・議論を重ねていきます。

### 企業価値の向上

企業価値に関して、PBRが1倍に満たない状態が続いていることは、経営の大きな課題だと認識しています。この課題の解決に向けて、重要KPIであるROEを高められるよ

う、まずは営業利益率の向上と総資産の圧縮の両面から改善を図ります。営業利益率の改善に向けては、当社が得意とし、競争優位性を発揮できる技術紙などの高付加価値商品の売上ミックスを拡大すべく、重点的に経営リソースを投下していきます。一方、当社のバランスシートを見ると、2025年3月末現在での自己資本比率は55.2%と、財務の健全性・安定性は高い水準にあります。今後は、より資本効率を高める観点からバランスシートの圧縮も検討していきます。安定的な配当の継続と、増配や自社株買などの株主還元の拡充を検討し、同時に、最適なタイミングでの政策保有株式の解消や、自己株式の取得・消却などを通じて、純資産を適正な水準に維持します。

持続的に企業価値を向上できるように、社内で算出・管理する資本コストを十分意識しながら、収益性と資本効率の両面からROEの向上に努めてまいりますので、ステークホルダーの皆様には引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 財務ハイライト

Financial Highlights

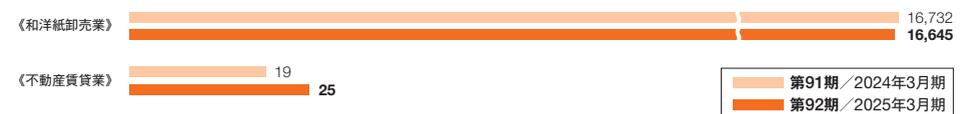
### 事業概況 セグメント別の状況

■**和洋紙卸売業**／和洋紙卸売業は、印刷・情報用紙分野での情報伝達媒体のデジタルシフトによる構造的な需要縮減の影響が大きく、全体での販売数量は減少しました。一方で、各種技術紙、機能紙分野やファンシーペーパー、パッケージ用途での販売金額は堅調に推移し、販売単価の上昇等もあり、売上高は166億45百万円（前期比0.5%減）、営業利益は物流その他各種コストの上昇も影響し、1億21百万円（前期比13.8%減）となりました。

■**不動産賃貸業**／不動産の売買、賃貸借、管理および仲介で構成される不動産賃貸業は、子会社の平和興産株式会社が倉庫業務を新規に受託したことにより賃料収入が増加し、売上高は25百万円（前期比35.3%増）、営業利益は19百万円（前期比23.9%増）となりました。

セグメント別の売上高（セグメント間の取引消去前）

（単位：百万円）



## 財務ハイライト

Financial Highlights

### 事業概況 品目別の概況

■**ファンシーペーパー**／多様な色、表面性、風合いを持つ高付加価値特殊紙のファンシーペーパーは、販売促進活動の継続効果と、パッケージや商業印刷用途が堅調に推移したことや、期間中の価格修正の影響もあり、売上高は35億22百万円、前期比1.7%の増加となりました。

■**高級印刷紙**／独自の風合いを持ち、通常の印刷用紙より高価格帯の高級印刷紙は、紙製品用途が堅調に推移しましたが、商業印刷用途や出版向けの販売がわずかに減少し、売上高は35億23百万円、前期比1.6%の減少となりました。

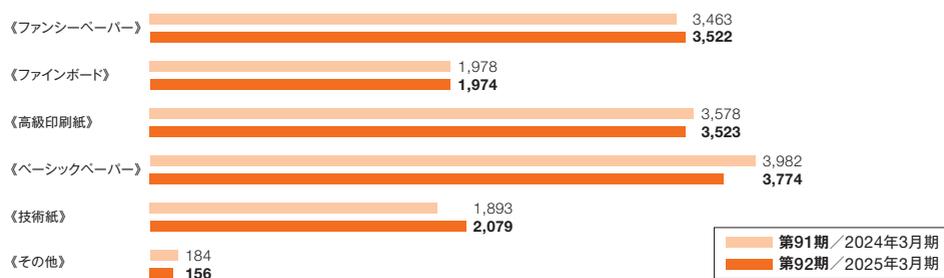
■**技術紙**／通常の紙にはない特殊機能が付与されている技術紙は、偽造防止用での販売が減少しましたが、耐水撥水性機能紙の販売に加え、選挙需要等を背景に合成紙の販売が堅調に推移したこと、売上高は20億79百万円、前期比9.8%の増加となりました。

■**ファインボード**／ファンシーペーパーの厚物(板紙)であるファインボードは、食品・化粧品等の高級パッケージや紙製品用途での販売は安定していましたが、商業印刷、広告物用途が減少し、売上高は19億74百万円、前期比0.2%の微減となりました。

■**ベーシックペーパー**／上質紙、塗工紙、色上質紙等の印刷用紙、包装用紙、各種パッケージ向け板紙等で構成されるベーシックペーパーは、紙器用途が堅調に推移しましたが、商業印刷用途や海外販売が減少したこと、売上高は37億74百万円、前期比5.2%の減少となりました。

■**その他**／家庭紙、紙加工品、製紙関連資材等で構成される当区分では、ペーパータオル等家庭紙の販売および製紙関連資材、紙加工品の販売が減少し、売上高は1億56百万円、前期比15.0%の減少となりました。

品目別の売上高 (単位:百万円)

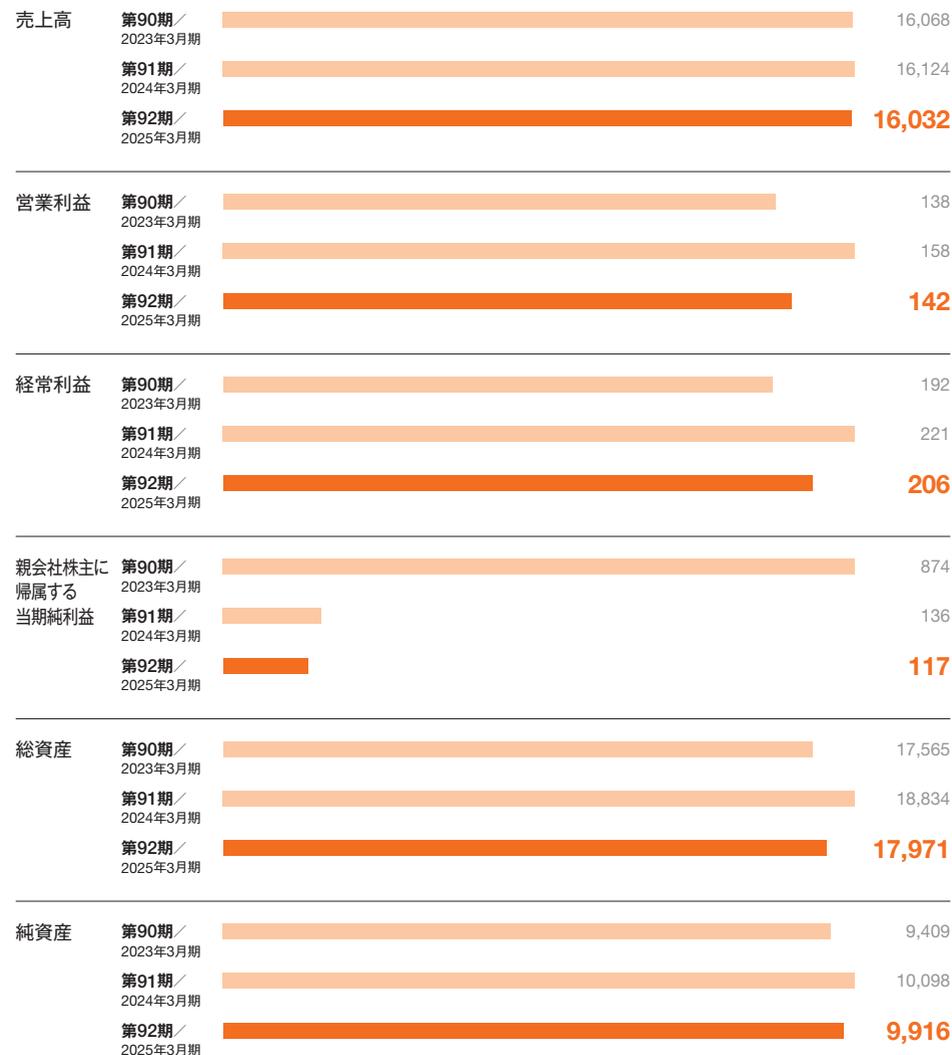


品目別の構成比率 (単位:%)



### 連結

(単位:百万円)



## 財務ハイライト

## Financial Highlights

連結貸借対照表  
(2025年3月31日現在)

(単位：千円)

資産の部	第91期/2024年3月期	第92期/2025年3月期
流動資産	12,756,346	11,807,459
固定資産	6,077,930	6,163,572
有形固定資産	2,133,665	2,745,884
無形固定資産	34,807	25,171
投資その他の資産	3,909,457	3,392,517
資産合計	18,834,277	17,971,031

負債の部	第91期/2024年3月期	第92期/2025年3月期
流動負債	7,714,951	7,141,936
固定負債	1,020,856	912,537
負債合計	8,735,807	8,054,473

純資産の部	第91期/2024年3月期	第92期/2025年3月期
株主資本	8,773,211	8,776,722
純資産	10,098,469	9,916,558
負債純資産合計	18,834,277	17,971,031

連結損益計算書  
(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

(単位：千円)

	第91期/2024年3月期	第92期/2025年3月期
売上高	16,124,095	16,032,057
売上総利益	3,288,512	3,273,917
営業利益	158,052	142,679
経常利益	221,814	206,187
親会社株主に帰属する当期純利益	136,333	117,025

個別貸借対照表  
(2025年3月31日現在)

(単位：千円)

資産の部	第91期/2024年3月期	第92期/2025年3月期
流動資産	11,790,190	10,905,111
固定資産	6,048,931	6,208,150
有形固定資産	1,877,072	2,574,606
無形固定資産	30,920	22,022
投資その他の資産	4,140,938	3,611,521
資産合計	17,839,121	17,113,261

負債の部	第91期/2024年3月期	第92期/2025年3月期
流動負債	7,289,766	6,730,076
固定負債	827,718	803,007
負債合計	8,117,485	7,533,084

純資産の部	第91期/2024年3月期	第92期/2025年3月期
株主資本	8,573,011	8,612,870
純資産	9,721,636	9,580,177
負債純資産合計	17,839,121	17,113,261

個別損益計算書  
(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

(単位：千円)

	第91期/2024年3月期	第92期/2025年3月期
売上高	15,099,494	15,057,050
売上総利益	2,950,395	2,895,470
営業利益	212,419	162,303
経常利益	300,247	250,142
当期純利益	216,370	153,373

## 非財務ハイライト

## Non-Financial Highlights

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

## 平和紙業のSDGsへの取り組みについて

平和紙業は、以下のような考えのもと、社業である紙の販売を通じて持続可能な社会の実現に貢献すべく、8つの目標を掲げてSDGsの目標に向けて取り組んでいます。

木は成長する過程で二酸化炭素を吸収し、温室効果ガス削減に寄与しています。吸収された二酸化炭素は木の体内に固定化され、その繊維は紙の原料になります。紙は自然の恵みを効率的に利用すると同時に、地球環境と寄り添いながら作られています。

紙は、私たちのもとで使われ、その後は古紙として回収され、再び紙に戻ります。つまり紙は、サステナブル(持続可能)であると同時に、循環型素材だということができます。

## 平和紙業の環境問題に対する基本方針

私たち平和紙業は、森林資源という地球の恵みを受け、長年にわたって価値ある紙をつくり、市場に送り届けてきました。地球環境を守ることは、私たちの社会の生命線であると認識し、「環境」を経営の基礎として、すべての活動が環境保全につながるよう努力しています。

森林資源や電力問題など、「環境」への意識がますます

また、カーボンニュートラルの考え方から、焼却されても二酸化炭素の増加にはつながりませんし、自然界に放置されても、いずれ分解し土へと戻ります。紙は、まさしく環境に配慮した素材ということができます。

今、地球環境に対する警鐘が鳴らされています。地球温暖化に伴う気候変動や、水や資源の濫用、廃棄物や化学物質による汚染、マイクロプラスチックによる海洋汚染など、深刻な状況になりつつあります。こうした中、サステナブルな素材である紙を効果的に使うことは、地球環境における諸問題に対する解決・改善の一助となるものと考えています。

重要になる中、社員一人ひとりが自らの環境意識を向上させ、環境法規制の順守を徹底することはもちろん、紙の利用と環境保全活動が一体になるような提案を広め、社会と地球環境に貢献する企業として責任を果たしながら、社会が求める持続可能な価値の創造に向けて前進していきます。

平和紙業の環境問題に対する基本理念、行動指針については、当社ウェブサイトをご覧ください。  
<https://www.heiwapaper.co.jp/environment/plan.html>



## 非財務ハイライト

Non-Financial Highlights



### 平和紙業が掲げる8つの目標

1. 「紙」という持続可能な素材を社会に提供します。
2. 脱プラスチックを視野に入れた機能素材を積極的に市場展開します。
3. 事業運営に関わる、エネルギー使用の効率化をはかります。
4. 環境に配慮した物品購入、公正な調達を行います。
5. 誰もが働きやすい職場を作り、ワーク・ライフ・バランスの向上を目指します。
6. 学びの機会を増やし、スキルアップを促します。
7. 社会貢献を視野に入れたESG投資を行っていきます。
8. 国内外で様々なパートナーシップの輪を広げていきます。

### 8つの目標に対する取り組み (2024年4月1日~2025年3月31日)

- 1
- 下記の商品をFSC®森林認証紙として新たに発売しています。  
 「コンケラー・レイドN」「コンケラー・ウープN」「コンケラー・CX22N」  
 「キュリアスマターN」「キュリアススキンN」2024年4月  
 「キュリアスTL-N」「キュリアスメタルN」2024年5月  
 「O-hajiki CoC」2024年7月「SUKEKAKEラップCoC」2024年8月  
 「トボラスF」2024年11月「モダンクラフトF」2025年3月



- 1:2:3:7:8
- 当社では、得意先様をはじめとした、さまざまなお取引先様とのパートナーシップを図りながら、アップサイクルされた紙の提案や開発に取り組んでいます。アップサイクルとは、本来であれば捨てられるはずの廃棄物に、デザインやアイデアといった新たな付加価値を持たせることで、別の新しい製品にアップグレードして生まれ変わらせることを言います。



- 4
- 物品購入において社内目標を定めています。  
 \*詳しくは、10ページの[ISO14001環境管理活動について]をご覧ください。



- 5-6
- 2025年3月31日現在の管理職全体に占める女性の割合は、9.8%となりました。



### ISO14001環境管理活動について

#### エコロジーペーパーについて

\*普及活動の推進では、勉強会やイベント開催におけるすべての項目で目標を達成しました。

1 普及活動の推進		(全サイト合計)
□得意先 エコ商品 勉強会	目標	26回
	2024年度実績	39回
□仕入先 エコ商品 勉強会	目標	13回
	2024年度実績	17回
□エコイベント	目標	15回
	2024年度実績	17回

#### 2 販売シェアの把握

目標：エコロジーペーパー販売シェア基準値±3ポイント以内

	2024年度実績	2023年度実績
全サイト合計	基準値-2.2ポイント	基準値-3.6ポイント

\*基準値とは、前年度の実績を参考に算定した販売シェアの予測値です。

#### 3 在庫シェアの把握

目標：エコロジーペーパー在庫シェア基準値±5ポイント以内

	2024年度実績	2023年度実績
全サイト合計	基準値+1.2ポイント	基準値-1.0ポイント

\*基準値とは、前年度の実績を参考に算定した在庫シェアの予測値です。  
 ※在庫の管理は全サイト一括管理となっています。

#### エネルギー使用量について

##### 1 電気 (単位：kwh)

	2024年度実績	使用前年度比
全サイト合計	283,013	-15.3%

##### 2 営業専用ガソリン (単位：リットル)

	2024年度実績	使用前年度比
全サイト合計	27,371	+4.1%

\*営業車の61.5%にハイブリッド車を導入しています。

#### OA用紙使用量について

##### □PPC用紙 (単位：千枚)

	2024年度実績	使用前年度比
全サイト合計	2,084	-4.8%

#### グリーン購入シェアについて

目標：グリーン文具購入シェア80%以上

	2024年度実績	2023年度実績
全サイト合計	95.1%	95.7%

平和紙業のSDGsへの取り組み、  
 目標の詳細については、  
 当社ウェブサイトをご覧ください。  
<https://www.heiwapaper.co.jp/sdgs/sdgs.html>



## トピックス

Topics

手になじむやさしい質感としなやかさを兼ね備えた  
デザインに寄り添う紙を発売

## 「トポラスF」

透き通るような濁りのない白さの紙色を持ち、しなやかで手になじむ肌触りの「トポラスF」を発売しました。

空気を多く含んだ構造で、嵩高で軽く、弾力性と柔軟性をあわせ持つため、オフセット印刷などの印刷はもちろん、箔押しやデボス加工などのさまざまな加工に適し、多様なサイズのパッケージ加工にも力を発揮します。デザインが映える美しい白さと豊富な規格により、平面・立体を問わず幅広い用途でご活用いただけます。

## 〈商品規格〉

## 寸法・連量:

- 800×1,100mm T目・1,100×800mm Y目  
229kg (260g/m<sup>2</sup>)・273kg (310g/m<sup>2</sup>)・325.5kg (370g/m<sup>2</sup>)
- 650×950mm T目・950×650mm Y目  
160.5kg (260g/m<sup>2</sup>)・191.5kg (310g/m<sup>2</sup>)・228.5kg (370g/m<sup>2</sup>)
- FSC®森林認証紙 (FSC®C005596)

深くシックな色が特徴の「ディーpmat」に  
新しい2色を追加発売

## 「ディーpmat」

2008年に発売をスタートした「ディーpmat」に、新たに「スノー」と「シャドー」の2色加わり、全19色となりました。「スノー」は従来色の「ホワイト」に比べて白色度が高く、濁りのない美しい白にこだわりました。「シャドー」は従来色にはない青味のある深いグレー色で、“濃いけれど明るい”「ディーpmat」に新たな魅力が加わりました。

## 〈商品規格〉

## 寸法:1,091×788mm Y目

連量:70kg・100kg・135kg・180kg・220kg・265kg・  
360kg・450kg

## 新色:スノー・シャドー

- 古紙パルプ40%以上・バガスパルプ10%以上配合
- \*2025年6月生産分より、古紙パルプ30%以上配合に変更
- FSC®森林認証紙 (FSC®C005596)
- \*2021年2月生産分より、順次FSC®森林認証紙に移行中

ペーパーボイス東京にて  
「エコラシャ展」を開催

2025年2月3日から3月28日にかけて、「ファンシーペーパー」の「エコラシャ」を紹介する展示会を開催しました。「エコラシャ」の名は、厚手の毛織物をあらわす“ラシャ”に、“エコロジー”を掛け合わせています。2003年の発売以来、リニューアルを経て現在は38色の展開で、書籍の装丁やパッケージなどの用途に多くご活用いただいています。

発売から20年以上が経つ中、長年ご愛顧いただいている方にも初めて知る方にも、その魅力が存分に伝わるよう細部までこだわった書籍型の「エコラシャ特別見本帳」を、2024年9月に制作しました。今回の展示会では、この特別見本帳の制作過程を、実際に印刷や箔押し加工を施したテスト品の展示を通してご紹介し、色紙に印刷を加えるからこそ味わえる面白さや加工適正などを感じていただけるようにしました。

また、歴代の見本帳も展示して長年の変遷を伝えながら、「エコラシャ」が持つ変わらない魅力と、新たな魅力を発見していただける企画展示としました。平和紙業では、新商品の発売や商品のリニューアルにより変化する時代のニーズに対応する商品を販売していますが、その他多くの取扱商品についてもさまざまなPRを行い、情報発信や商品のリブランディングに引き続き力を入れていきます。

Topics  
1Topics  
2Topics  
3

## 会社概要

Company Overview

会社沿革	1946年 3月	平和紙業株式会社を創立 大阪市に本店を、名古屋市に支店を開設し、洋紙・板紙の販売を開始	
	1954年 11月	高級紙・特殊紙のオリジナル商品の在庫販売を開始	
	1956年 11月	東京都中央区に東京営業所（現：東京本店）を開設	
	1962年 12月	大阪府布施市（現：東大阪市）に倉庫を設置	
	1964年 10月	愛知県小牧市に倉庫を設置	
	1972年 1月	福岡市に福岡営業所（現：福岡支店）を開設	
		2月	仙台市に仙台営業所（現：仙台支店）を開設
		6月	現地法人平和紙業（香港）有限公司を設立
	1974年 8月	倉庫・加工および配送業を移管し、東大阪市に平和興産株式会社を設立	
			手抄和紙の拡販を目的として、名古屋市に株式会社社和を設立
	1976年 8月	名古屋に“ヴェラム”（現：ペーパーボイスヴェラム）を開店	
	1977年 9月	東京にショールーム（現：ペーパーボイス東京）を開店	
	1978年 9月	広島市に配送センター（現：広島事業所）を開設	
	1982年 11月	大阪支店に“PAP”（現：ペーパーボイス大阪）を開店	
	1983年 11月	札幌市に札幌デポ（現：札幌事業所）を開設	
	1987年 5月	大阪本社および東京本社の2本社制に移行	
	1988年 10月	富士市に富士デポを開設	
	1991年 2月	第1回新株引受権付社債の新株引受権の権利行使により、資本金6億9,000万円に増資	
	1992年 9月	大阪証券取引所市場第2部上場により、新資本金13億6,800万円に増資	
	1995年 5月	東大阪市にある倉庫を全面改装し、“ペーパーロード大阪”と改称	
1997年 4月	公募による新株式150万株発行により、新資本金20億8,435万円に増資		
2002年 8月	1999年の東京本店を皮切りに、全支店で「ISO14001」審査登録		
2005年 4月	本社機能を東京に集約		
2008年 4月	ムーサ株式会社と合併		
2014年 6月	登記上の本店所在地を東京都中央区に変更		
2015年 1月	名古屋市中区に名古屋支店を移転		
		ペーパーボイスヴェラム（名古屋）移転によりリニューアルオープン	
2019年 10月	ペーパーボイス東京を全面改装し、リニューアルオープン		
2025年 3月	大阪事務所ビルの耐震補強工事とリニューアルが完了		
2025年 5月	ペーパーボイス大阪を全面改装し、リニューアルオープン		

### 大阪本店 リニューアル

2024年5月より実施しておりました大阪事務所ビルの耐震補強工事と内装工事が完了し、2025年3月17日より、リニューアルした事務所にて営業活動を再開いたしました。

大阪事務所ビルは、創立20周年記念事業の一環として建設され、1968年8月より営業を開始しました。その後、2001年に内装を改修しましたが、今回のリニューアル工事では、外観は創建時のレトロな雰囲気をそのまま活かし、建物内部の耐震補強をメインに、オフィスとペーパーボイス大阪（ペーパーショップ&ギャラリー）の内装を一新しました。

新装したオフィスでは、フリーアドレスの導入やWEB面接ブースの増設など、什器設備を一新するとともに、執務フロア内にカフェスペースを併設し、よりフレキシブルなワークスタイルを目指しました。

また、不動産事業の拡大を図るべく、鉄筋コンクリート4階建のうち、4階フロアを含む一部を賃貸物件として活用できるよう、入館セキュリティ対策を施しました。今後は、大阪市内の中心地の1つとして需要の高いエリアである心斎橋駅に近い立地を活かして、不動産事業の収益向上を図ってまいります。



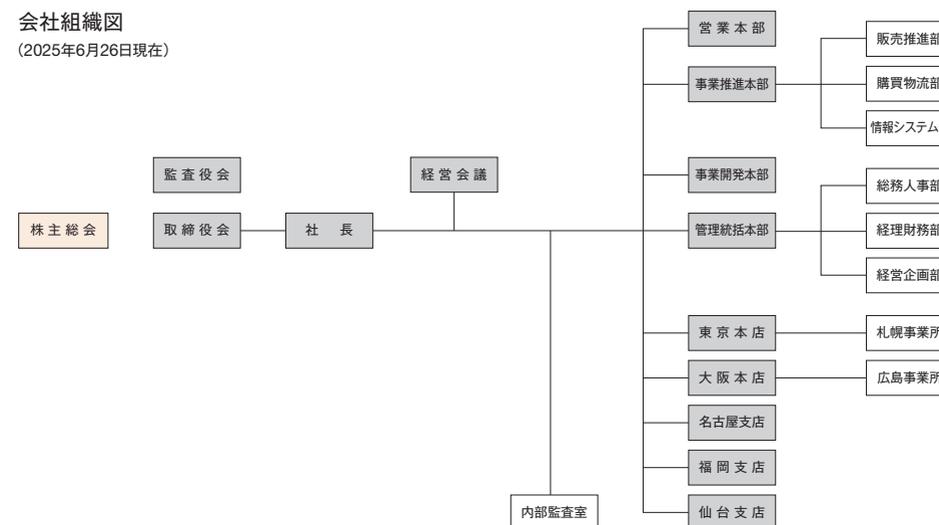
# Osaka Head Office Renewal

## 会社概要

Company Overview

概要	創立	1946年3月
(2025年 4月1日現在)	資本金	21億784万3,845円
	上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場
	従業員数	138名
	事業内容	1. 特殊紙、高級紙、技術紙をはじめ、各種紙素材の開発、販売、輸出入 2. 紙を素材とする新商品開発と商品化 3. 不動産の売買、賃貸借、管理および仲介 4. これらに付帯する一切の事業
	関係会社	平和興産株式会社 株式会社 辻和 平和紙業(香港)有限公司
	取引銀行	三井住友銀行 三菱UFJ銀行 みずほ銀行 三井住友信託銀行
	ウェブサイト	<a href="https://www.heiwapaper.co.jp/">https://www.heiwapaper.co.jp/</a>

役員紹介	代表取締役社長	清家 義雄
(2025年 6月26日現在)	常務取締役	坂野 一俊 (昇任) 【名古屋支店管掌】
	常務取締役	矢野 恵一 (昇任) 【大阪本店長】
	取締役	和田 学 【管理統括本部長】
	取締役	横山 秀雄 【営業本部長 兼 東京本店長】
	取締役	小宮 崇 【事業推進本部長 兼 事業開発本部長】
	取締役	小島 正之 【東京本店副本店長 兼 受注部長】
	社外取締役	柴田 貢
	常勤監査役	田口 雅史 (新任)
	社外監査役	松岡 幸秀
	社外監査役	原 浩之
	執行役員	福島 健 【名古屋支店長 兼 営業1部長】
	執行役員	北山 猛 【福岡支店長】
	執行役員	伊藤 敏 【仙台支店長】

会社組織図  
(2025年6月26日現在)

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会の議決権 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	〒100-8233 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先・電話照会先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
公告方法	電子公告といたします。 ( <a href="https://www.heiwapaper.co.jp/ir/brief.html">https://www.heiwapaper.co.jp/ir/brief.html</a> ) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載して行います。
上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場

- 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 特別口座から一般口座への振替申請手続きについて  
特別口座に記録されている株式の振替手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株式の状況 (2025年3月31日現在)

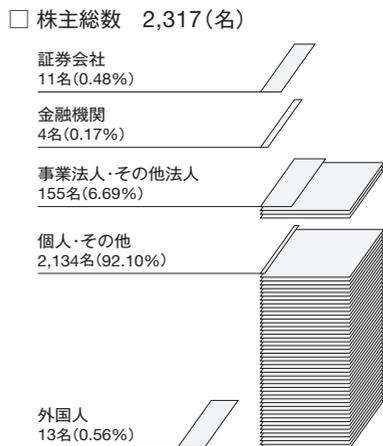
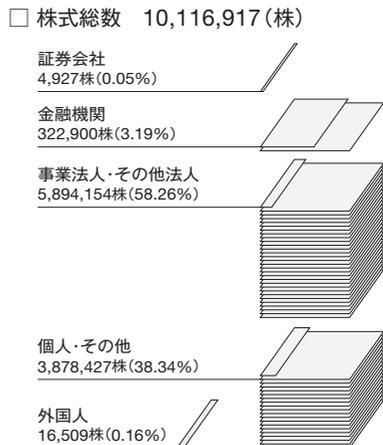
- ①発行可能株式総数 19,908,000(株)
- ②発行済株式の総数 10,116,917(株)
- ③株主数 2,317(名)
- ④大株主の状況(上位10名)

当社への出資状況

株主名	持株数 (単位:株)	持株比率 (単位:%)
特種東海製紙株式会社	814,100	8.61
王子エフテックス株式会社	745,000	7.88
平和紙業取引先持株会	632,400	6.69
日本製紙株式会社	313,500	3.31
北越コーポレーション株式会社	306,000	3.23
富士共和製紙株式会社	282,900	2.99
東京製紙株式会社	253,350	2.68
小島勝正	240,443	2.54
清家豊雄	221,872	2.35
春日製紙工業株式会社	202,750	2.14

(注)当社は自己株式を657,395株保有しておりますが、上記大株主から除外しております。持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株主分布状況・重要な子会社の状況



会社名	資本金 (単位:百万円)	当社の議決権比率 (単位:%)	主要な事業内容
平和興産株式会社	60	100	物流・保管・紙加工業
株式会社社和	10	100	和洋紙卸売業
平和紙業(香港)有限公司	10百万HK\$	100	和洋紙卸売業

事業所一覧

□ 本社・本支店

- 本社 〒104-0033 東京都中央区新川1丁目22番11号 Tel: 03-3206-8501
- 東京本店 〒104-0033 東京都中央区新川1丁目22番11号 Tel: 03-3206-8511
- 大阪本店 〒542-0081 大阪市中央区南船場2丁目3番23号 Tel: 06-4967-5010
- 名古屋支店 〒460-0003 名古屋市中区錦1丁目3番7号 Tel: 052-223-2310
- 福岡支店 〒812-0007 福岡市博多区東比恵3丁目23番34号 Tel: 092-474-1812
- 仙台支店 〒984-0015 仙台市若林区卸町3丁目1番7号 Tel: 022-235-0811
- 札幌事業所 〒060-0013 札幌市中央区北13条西17丁目1番41号 Tel: 011-717-3221
- 広島事業所 〒733-0833 広島市西区商工センター6丁目5番9号 Tel: 082-277-6336
- 富士デポ 〒416-0946 富士市五貫島字地神1088 Tel: 0545-63-1175
- 若洲デポ 〒136-0083 東京都江東区若洲2丁目4番18号 Tel: 03-3522-8280
- ペーパードット版 〒577-0005 東大阪市七軒家19番15号 Tel: 06-6744-5572
- 名古屋デポ 〒485-0056 小牧市小木南1丁目1番1号 Tel: 0568-77-5335

□ ペーパーショップ・ギャラリー

- Paper Voice Tokyo 〒104-0033 東京都中央区新川1丁目22番11号 Tel: 03-3206-8541
- Paper Voice Osaka 〒542-0081 大阪市中央区南船場2丁目3番23号 Tel: 06-4967-5013
- Paper Voice Vellum 〒460-0003 名古屋市中区錦1丁目3番7号 Tel: 052-223-2314



The mark of responsible forestry



グリーン購入基準対応紙



ECOLOGY PAPER

表紙: エコラシャ しろ 四六判 Y目 130kg  
 \*ラシャ風の環境対応紙で、38色の色バリエーションを持つファンシーペーパーです。  
 本文: ソルジェンテ 菊判 Y目 69.5kg (グリーン購入法適合銘柄)  
 \*画材紙の風合いにオフセット印刷が再現でき、上品で落ち着いた「艶」を演出します。  
 印刷: 植物油インキを使用しています。